

令和2年度第2回四街道市子ども・子育て会議 会議録（概要）

日 時 令和2年11月12日（木）午後1時30分～午後2時45分
場 所 四街道市保健センター3階 大会議室
出席委員 伊藤会長、千脇副会長、安川委員、青柳委員、有川委員、村井委員
利光委員、小池委員、白石委員、湯浅委員、蜂谷委員、小谷委員、笹原委員
欠席委員 梶原委員、黄野委員
事務局 小島健康こども部長、山崎健康こども部副参事
子育て支援課：小和瀬課長、榎本課長補佐、石川主任主事
保育課：川田課長、下山課長補佐、成田係長、塚本主任主事
健康増進課：井内課長
指導課：池田主幹
傍聴人 2人

―― 会議次第 ―――

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 健康こども部長挨拶
- 4 報告事項
①新型コロナウイルス感染症への対応について 【資料1】
- 5 議 題
①四街道市こどもプラン～子ども・子育て支援事業計画～元年度及び総合評価について
【資料2-1、2-2、2-2別添】
②令和3年4月開設予定の家庭的保育事業等の認可に係る意見聴取について
【資料3】
- 6 その他
- 7 閉 会

―― 議事概要 ―――

○開会

○健康こども部長挨拶

○会長挨拶

○会議の公開・非公開の決定、会議録の作成について

会 長 議事運営に著しい支障が生じるとは認められないため、会議を公開とすることとし、会議資料についても、傍聴人に配布することとしてよろしいか。

《異議なし》

会 長 会議録の発言者名は、会議の公開に関する規定により明記することとなっているため、本会議においても同様とする。

傍聴人を入室させてください。

○報告事項① 新型コロナウイルス感染症への対応について

- 会 長 報告事項①「新型コロナウイルス感染症への対応について」事務局より説明をお願いします。
- 事務局 《資料1について事務局説明》
- 会 長 ただいまの報告の中で確認したい点はあるか。
《意見なし》

○議題① 四街道市こどもプラン～子ども・子育て支援事業計画～元年度及び総合評価について

- 会 長 議題①「四街道市こどもプラン～子ども・子育て支援事業計画～元年度及び総合評価について」事務局より説明をお願いします。
- 事務局 《資料2-1、2-2、2-2別添について事務局説明》
- 千協委員 「計画より進んでいる」評価の「時間外保育事業」と、「やや遅れている」評価の「一時預かり（保育園等の一時保育）」について質問したい。
「一時預かり（保育園等の一時保育）」の実績値が目標値に達しなかった理由は、保育園での一時保育を必要とする家庭が少なかったからなのか、それとも、受け入れができなかったからなのか。
それに対して「時間外保育事業」では目標値に対して実績値が上回っている。保育士が少ない中での負担を考えると「計画より進んでいる」という評価でよいのか。また、時間外保育のニーズとして、労働時間が多様になっていることによる希望なのか、夜に働かないといけない人が増えて夜に預からないといけなくなったのか、朝から夜の時間が増えたのか。
- 事務局 「一時預かり（保育園等の一時保育）」は、保育所に入所していないお子さんで、保護者の仕事や体調不良等により預かりが必要となった方が対象となっている。市内全園で実施できなかったことから、「やや遅れている」とした。「時間外保育事業」は、8時30分から17時までが通常の保育時間だが、7時から8時30分まで、17時から19時までを時間外保育として設定している。入所児童のニーズに対して各保育所で対応できていることから「計画より進んでいる」とした。
- 千協委員 こどもルームについて、全体の数値としては定員は足りているが、場所によっては定員を超えているところもあると思う。超えているこどもルームの広さや指導員に無理がきてはいないのか。また、四街道小学校はこどもルームを増やす話を聞いているがどのようなになっているのか。
- 事務局 定員を超えているこどもルームは存在する。年度当初の5月頃がピークであるが、定員に対して登録児童数が多くなってはいる。現状としては、コロナの影響等もあり、登録していても実際に利用する児童が少なく、定員内に収まっていることから対応できている。四街道小学校のこどもルームは、定員を大きく超えているため、木造校舎の一室を借りて保育を実施している。現在、隣の一室を改修工事しており、来年4月には新たに第3ルームとして増やす予定でいる。
- 青柳委員 目標値はニーズなどをもとに出していると思うが、ニーズは5年間のうちに変わ

事務局 っているものもあるはずで、目標値に達していなくても実際にはニーズを満たしているもの、あるいはその逆もあると思う。目標値と実績値で評価してよいのか。目標値はニーズや過去からのトレンドで設定している。施策の取組内容が実施されたか、目標値を設定している施策は目標値が達成されたかで評価している。時代ニーズに即していない目標値も発生してくると想定されるが、5年間のうちに中間見直しを実施している施策もある。社会状況の変化に応じて見直しが必要となった施策については修正している。

千協委員 「レクリエーション活動の充実」について、スポーツ推進委員連絡協議会主催のニュースポーツ体験会が実施状況としてあるが、青少年相談員主催のユニカール大会、公民館で行っているチャレンジスクール等のなかでも子どもたちにニュースポーツを体験してもらっている機会はある。これらは評価に反映されていないのか。レクリエーション協会でもニュースポーツは行っている。ほかの団体との連携も今後考えているのか。

事務局 ニュースポーツ体験会の参加者数が芳しくなかったことが評価の一因である。種目はラージラケットテニス、ペタンクを行ったとのことだが、令和元年度は児童の参加者が0人だった。青少年ユニカール大会やその他の取組もあるが、基本施策の取組内容とは方針が若干異なる部分があるので指標には含めておらず、このような評価となっている。ただ、今後はそれらの取組から参加者を誘引する広報の方法や、より興味を引く競技の研究をするなど、参考とすることはできる。今後の課題にはなると思う。

白石委員 「こども110番の家の充実」について、「こども110番の家」の設置理由等は何か。

事務局 地域の方に登録をしてもらい、学校の指導の中で、何か困ったことがあった時、不審者に関わることがあった時、けがをした時に助けてくれる心強いお家だよ、と紹介している。実際に助けを求めて「こども110番の家」に行ったという情報は担当課ではないので把握していない。

白石委員 「こども110番の家」の利用率はどれくらいなのか。件数の拡大を目指しているように見えるが、駆け込んだ時に留守だと意味がない。件数を増やすことで抑止力にはなると思うが、数よりも質を高める必要があるのではないかと。また、数よりも質を評価に加えてもいいのではないかと。意見・感想として伝える。
もう1点、資料2-1の7ページ、計画期間の評価の総括にて、3市連携事業による民間保育所等の整備とあるが、この保育所における四街道市民の利用率は何パーセントで、3市での費用配分はどのくらいか。

事務局 3市連携による民間保育所整備については、千葉駅の駅ビル内に植草学園千葉駅保育園が整備された。

植草学園千葉駅保育園は、59人定員のうち四街道市は3枠持っている。費用については、通常の運営費は59分の3ではなく、実際に入所している人数分を負担するもので、通常に比べ特に大きな負担がかかるというわけではない。建設費等整備にかかった費用は千葉市が国と県から補助金を交付されており、残りの千

葉市負担分のうち3枠分を四街道市が支払っている。

有川委員 「ことばの相談事業」について、これだけ件数が多いことには驚いたが、相談員は多いのか。また、場所はどこで行っているのか。個別相談、電話相談の方法はどのようにしているのか。

事務局 正規職員の言語聴覚士1名が専門職として対応しているほか、相談の場面では非常勤職員の臨床心理士の先生が入ることもある。基本的には言語聴覚士1名が中心となって対応している。電話相談は平日日中随時受付している。職員1名で十分対応できているかということについては、電話相談が来た時にその職員がほかの相談に出れば出られないということはあるが、ほかの保健師等の職員もある程度は相談に乗っており、そのうえで専門的な相談が必要になれば繋いでいく。

場所は、電話相談は保健センター事務室で受けているが、「ことばの相談室」という専用の部屋を福祉センター内に以前から設けている。プレイルームがあり、お子さんと親が離れた状態で観察できるつくりになっている。

受付の流れは、電話で相談をいただき、必要に応じて予約をとって相談室に来ていただく。1歳半健診、3歳半健診などの健診の場にも言語聴覚士が同席しているので、そのときに相談を受けることもできる。

相談内容は、年齢に応じて周りのお子さんと比較して言葉の出が少ないのはいいか、お友達とうまくやり取りができていないのではないかと、少し大きくなると幼稚園等の先生から紹介されて、というのがある。

千脇委員 「こども110番の家の充実」について、白石委員と同じ意見である。そもそもの増やす目的として、看板を掲げることで抑止力があるため、家にいなくてもいいので掲示協力を、という話もあった。状況報告をしていると、子どもが不審者にあつた時に「こども110番の家」に飛び込まずに家まで帰ったという事例がいくつもあつたと聞いた。帰る道すがらに「こども110番の家」がいくつもあつたのに自分の家まで帰ったというのはなぜかと思い、自身が所属している四区子ども会では、地域の「こども110番の家」の方と子どもが繋がっていないためではないかということがわかってきた。地域の方と子どもを繋ぐことをしたほうがいいのではないかとということになり、「こども110番の家」ウォークラリーを実施した。数値目標よりも、子どもと「こども110番の家」を繋ぐ事業に今後はシフトしていくほうがいいのではないかと。

会 長 数値的なことよりも地域とのつながりを強めたほうが、というご意見を参考に今後の計画に取り入れていただければと思う。

笹原委員 子どもの数が今後どうなっていくのかの予測がなければ話をいくらしても成り立たない。予測はどうなっているのか。保育士やこどもルームの支援員が足りない状況があるのであれば、どういう方法で確保していくのか。

事務局 子どもの数の推移については、『四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～』のなかで計画期間における児童数の推計を載せている。平成27年度から令和元年度の各年4月1日の住民基本台帳人口を基に1歳階級別の

コーホートの変化率等で今後の令和7年度までの0歳から11歳までの子どもの数を推計して載せているので参考としていただきたい。

事務局 保育士とこどもルーム支援員の人材確保については、各保育所、こどもルームを運営する社会福祉協議会それぞれで新聞広告やハローワークなどに募集記事を載せている。市としては、保育所に対して処遇改善や宿舍借り上げ料に対する補助金の交付をして支援している。また、保育士就職見学会の一覧を作成し、敬愛短大、植草学園短大、今年は千葉女子専門学校にも持参して学生が受験してもらえよう話をした。市のホームページでも案内している。こどもルーム支援員も市政だよりや市のホームページで募集をしている。こどもルーム支援員は認定資格研修を受けることによってその資格を得ることができるが、今後、令和5年3月までに認定資格研修を受ける希望のある者は支援員として就労でき、賃金を上げることができる「みなし支援員制度」を検討している。

○議題② 令和3年4月開設予定の家庭的保育事業等の認可に係る意見聴取について

会 長 「令和3年4月開設予定の家庭的保育事業等の認可に係る意見聴取について」事務局より説明をお願いします。

なお、小池委員におかれましては本議題に係る事業の関係者と伺っているため、大変申し訳ありませんが発言はお控えいただくようお願いいたします。

事務局職 《資料3について事務局説明》

会 長 ただいまの説明について、何か質問はあるか。

有川委員 事業所名が幼稚園附属ほいくえんとなっているが、認定こども園とするのはまだ無理だからなのか。

事務局 認定こども園の機能としての整備ではなく、小規模保育事業としての整備における名称として付けられているだけである。

会 長 令和3年4月開設予定の家庭的保育事業等の認可については事務局案の通り承認することとしてよろしいか。

《意見なし》

会長 令和3年4月開設予定の家庭的保育事業等の認可については事務局案を承認する。

○その他

会 長 事務局より何かあるか。

事務局 今後の会議の開催予定について説明する。次回の会議は来年5月頃を予定している。回数、開催時期は現時点での想定であるため、今後の審議事項の発生や審議状況、新型コロナウイルス感染症の影響次第で変更となることも想定される。開催の際には1ヵ月前には皆様にお知らせするためお願いしたい。

会 長 最後に全体を通して何かあるか。

白石委員 会議についてではないが、自分にはこどもルームと保育園それぞれに通っている

子どもがいる。保育園の継続手続きで就労証明が必要になり、その後、こどもルームの継続手続きでまた就労証明が必要になる。二度手間になっている。保育園の手続きの際にこどもルームのほうにも就労証明をコピーで提出できるようにしてほしい。ほかの家庭もそうであると思うので、親の意見としてお伝えしたい。

事務局 複数提出する場合、先に提出しているものが原本であれば後に提出するほうはコピー可とするよう、可能な限り対応したい。保育の必要性を判断する材料にもなるので、どのくらいの期間写しで対応可能であるのかも含めて検討したい。

会 長 ほかに何か意見あるか。

《意見なし》

○閉会

会 長 以上で本日の子ども・子育て会議を終了する。